

臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151（代表）

担当者の所属・氏名 整形外科 田崎 篤

【研究責任者】

聖路加国際病院 整形外科 田崎 篤

肩関節脱臼治療手術を受けた方を対象とした研究

1.研究の対象

2009年1月～2017年2月に当院で肩関節制動術、烏口突起移行術を受けられた方

2.研究の目的・方法

ラグビー選手、アメフト選手や受傷度の高い肩関節脱臼による肩関節不安定症の方々に関節包靭帯修復術（Bankart 修復術）と烏口突起移行術（Bristow 法）の併用手術を選択してきました。術後の再脱臼率が現在まで0%であり、国内外で高い評価を受けています。しかし後者の術式である烏口突起移行術において骨癒合不全や固定に用いたスクリューが脱転してくることがありました（7%程度）。このようなことが生じることで疼痛を誘発し、固定金属抜去手術を要する経過となっています。

烏口突起移行術の骨癒合不全は国内外で認知されていますが、現在までその詳細を調査した研究がありません。今回癒合例および癒合不全例の詳細を調査して、その実態を明らかにすることで、手術手技や患者さんへの指導方法の改善をはかることが研究の目的です。

なお、この調査では通常保険診療以外の医療行為はなく、診療録（カルテ）に記載される内容についての調査のみとなります。

調査期間は研究倫理審査委員会承認後～2018年3月31日までの予定です。

3.研究に用いる試料・情報の種類

《情報》 病歴、カルテ番号 年齢、身長、体重、年齢等

《試料》 X線（レントゲン） 検査結果